

主な記事

- 2面 わたしが出会った司祭、ひと、典礼奉仕
- 3面 島原半島の旅 諸委員会紹介
- 4面 医療のともしび、沖縄巡礼 教区スケジュール 書籍紹介

# カトリック高松教区報

2010年5月2日(第136号)  
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
 Email  
 教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp  
 広報:tk-koho@mxl.netwave.or.jp  
 生涯養成:yosei@takamatsu.catholic.ne.jp  
 WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



## 信仰・共同体・現代社会への挑戦 3つの側面から教会を考えよう

### 溝部司教が復活節書簡

「教区三年後に向けて」  
あるべき姿見つけ実行を

溝部司教は受難の日の三月二十八日付で「高松教区三年後に向けて」と題する復活節司教書簡を発表した。教区では今、三年後の宣教大会に向けて再生への歩みを続けているが、書簡は信徒へ三つの質問を投げかけ、教会のあるべき姿を考え行動することを求め、希望を持って歩もうと呼びかけている。

### 二〇一一年秋 教区あげて宣教大会



書簡はまず一月に開かれた小教区代表者合同会議を、今後の教区を考えるために大切なものだったと評価。『教会を考える』目的をはっきりさせることになったとしている。会議のテーマには、ナイス(福音宣教推進全国会議)を参考に、教会としての成り立ちに不可欠である『信仰』『共同体』『現代社会への挑戦』の三つの側面をとりあげた。会議では、このうちの一つでもなければ教会はこうなるのかとの検討がなされた。書簡は三つの側面についてそれぞれ述べた後、信徒に對

して三つの問いかけをする。『信仰』については、『信仰を深めないといくら華々しく活動しても教会の活動にはなりません。信仰を深めて初めて教会といえます』と指摘。そのため聖書の研究、祈りの分かち合い、主日のミサの活性化など工夫が必要と述べ、ここで一つ目の質問を出す。

### 再生へ向けて具体的に動くことこそ大切

『現代社会への挑戦』については、教会は社会の諸問題に開かれていることが前提で、『信仰を持つ』ことは現代に生きる人々の痛みを気づき、救いの手を差し伸べることで、社会に開かれていない教会は閉鎖的であり、発展する可能性がとて少なくなると述べる。ここで三つ目の質問。

『あなたの教会では信仰を深めるためにどのような手段をとっていますか。そのために十分に工夫していますか』。『共同体』については、『教会は信仰を持つ暖かい人達の集まりです。自分の慰めだけを求める信仰心は本ものとは到底言えません』と述べ、教会の現状に反省を求める。そして二つ目の質問。

書簡は以上の三つの質問について小教区で信徒が一緒に考えることをすすめる。『大切なことは、欠けていることに気づき、できることからやってみること』とし、相田みつをの詩「がんばらなくてもええ、具体的に動こうぞ」とを引用。小教区で分かち合い、それを繰り返すうちに『教会のあるべき姿がはつきり見えてきます』と書簡は励ます。見えてきたものを材料として『教区の方針を思索することをはじめます』という。今後の教区日程については『昨年からの教区の再生に向けて三年間の歩みを行って

### 司祭年を記念して 司祭叙階金祝 おめでと〜うございませ

司祭年を記念して ⑤

司祭叙階五十周年の祝福に  
柔和な笑顔で応じられたビ  
ティン神父は現在七十四歳。  
元気に伊予三島教会での宣  
司牧に当たられている。

来日十年前の一九六〇年七  
月十日二十四歳の時、スベ  
いのブルゴス会神学校にて司  
祭叙階。医師を営む父と母、  
兄弟三人の五人家族。信仰の  
風土をもつ二人の村に生ま  
れ、ミサを大切に、毎日常  
族をろってロザリオや他の祈  
りを捧げ、いつも神と共にあ

る深い信仰の  
なかで育った。  
そういう環  
境からか、七  
歳の頃にはす

の憧れが生まれ、目標が定まっ  
た。

十一名の仲間と共に叙階さ  
れた。

ホセ・マリア  
ビティン神父



れた後アメリカのカリフォル  
ニアに派遣され、五年間の英  
語習得による日本宣教準備に  
入った。その後五年間、メキ  
シコ系の教会での司牧を命じ

られた。カンパネラ、フェル  
ナンド師と共に日本に入った  
のは十年後の一九七〇年であ  
った。以来四十年間伊予三島に  
おいて、青少年の為に働きた  
いという叙階以来の熱意に促  
されながら子どもたちと接し  
ておられた。ところが、信仰  
刷新の為にフィンランドを訪  
れた際、飢えと貧しさに苦しん  
でいる子どもたちとの出会いに  
大きな衝撃を覚え、それ以来  
特に援助を必要としている最  
貧国の青少年の為に自らを省  
みることなく只ひたすらにキ  
リストの生きた愛の証に喜ん  
で奔走する毎日である。

「日本に対する印象で一番  
心に刻まれていることは何で  
すか」の問いに、日本の教会  
が多く殉教者の恵の上に建  
てられていることと答えられ  
た。そして、そこに心からの  
誇りを覚えておられる。

また、「現在の日本の教会  
に望みたい事は」の問いに、  
キリストの喜びのある教会、  
キリストを伝える教会、キリ  
ストの愛を生きる教会として  
成長する事だと言われる。今  
年特に心がけたことがある。  
それは、「常に回心しながら、  
たとえ少し離れているとしても  
ペトロのようにキリストの  
後に従っていきたい」との願  
いである。そんな師の姿に心  
からの共感を覚えた。

「あなた教会はまわりに生  
きている人々とのような関  
わりを持っているでしょうか。  
現代社会の諸問題を敏感に感  
じているでしょうか」。

### はばたき

二月四日の一般紙に「新宿  
区・高齢理由に障害給付断る」  
の見出しが目にとまった。障害  
者自立支援法に基づき、介護保  
険の他に夜間の訪問看護を上乗  
せサービスで受けようとするに障  
害給付を申し込んだところ、区  
の職員は「六十五歳以上は介護  
保険だけ。障害者が増えている  
ので税金で賄えない」などと  
断ったという記事を見た。

二月二十五日厚労省は各県  
介護保険主幹課長あてに「同居  
家族等がある場合における介護  
訪問サービス等の生活支援の取  
り扱いについて」を発している。  
それは生活援助等において  
同居家族等があることのみを判  
断基準として、一律機械的に  
サービスに対する保険給付の支  
給の可否について決定する事  
がないよう、改めて周知・・・  
これを受けて県から介護事業所  
にネット通達があった。

わが高松教区でも、教区内で  
統一された小教区宣教司牧評議  
会規約が出来上がった。前例の  
ように職員だけの内規が出来た  
り、機械的に議事が進行したり  
しないよう、信仰・共同体・現  
実を直視する事が大事だ。具  
体的には、あなたの小教区の良  
いところは何か、あなたは教  
会の為に何が出来ますか、の問  
いに答えることだ。

ところで、介護保険のサービ  
スも教会運営のヒントになるか  
も知れない。訪問介護でヘル  
パーが派遣されるように、家事  
のお手伝いをしたり、家庭集  
みや祈りの会を実施してみる。通  
所介護のように車による送迎に  
よって教会に集まり、体のため  
に必要な週二回の入浴のように  
霊的な入浴やおやつをするな  
ど、サービス事業者に負けない  
ようにしたいものだ。

記事 谷口広海

### 司教館の窓から 司教のひとりごと

「毎年、彼岸の入りには寒いのよ」(子規)  
三寒四温、気候の変動にほんろうされた今年の春だ。わたしも高松司教館に住み着いて、はや六年、いろいろなタイプの

司祭たちが共に住み、仕事をしていた。静かなひととき、去って行った。それなりに色々な出来事があり、各々の足跡を刻んでいった。その間、区も大きく揺れた。それも喜びも悲しみもある。今春の気候にも似て、三寒四温を辿った。人生は自分が思う通りにはいかないものだ。この実感は一年を生きていくに付いて回ったこの六年間の

### 松山教会 マリア・スコラスチカ

私は三年前に主人を亡くしました。その頃から信仰と真剣に向き合うようになり、主人と神父様の出会いは十年前のことです。主人は信者ではありません。

私が日曜の礼拝を終えた頃、迎えてきてくれたのです。ところが私が外に出ると主人と神父様が実に楽しそうに二人でジョークを飛ばしあっているのです(えっ、私が信者なのに)。次に迎えにきてもらった時は、更に部屋に入り何とも和やかな雰囲気です。神父様は信者とか信者でないとか関係なく付き合っているのだなあ...と思えました。

スペインに行っている息子が教会で結婚式をしたいと言いますので、お話を聞きに行ったことがあるのですが結婚とはどういふ事かと、いろいろお話をした後に二人はなんとサッカーの話で盛り上がり始めたのです。何という神父様かと思いました。

しかし、二人はすっかり打ち解け、時々話を聞きに行くようになり後に洗礼を受けました。

主人も亡くなる少し前に「家族の幸せのために洗礼を受けたい」と言いました。神父様に話をすると病院まで

### わたしが出会った司祭 洗礼を受けなくても 貴方と私は友人です

私たちがわかりやすく言葉で伝えるために、一つ一つの言葉や漢字の意味までも気遣っているのだと気がきました。

私は神父様を見ていて感じるのです。「信仰というものは、人の心を開かせもともと心と心を自由にするものなんだよ...」

「信仰というものはもともと人間味あふれる人間にするものなんだよ...」

そういうことを言っているように感じます。

ときには、神父様がたまに悩んだり、悲しんだりするお姿を見かけます。そういう部分も全部含めて、私は大変尊敬しています。

主のご復活おめでとございます！  
典礼とは復活を体験する場です。ヨハネ二十章によると、復活の日の朝早く、マグダラのマリアはイエスの墓の前で泣いていました。しかし、彼女はイエスが何処に置かれているのか分かりませんでした。ヨハネ福音書には「何処から来て何処へ行くのか知らない」というモチーフが随所に現れます。これは「イエスが何者であるか知らない」ということです。

マグダラのマリアの行動は称賛されるべきものです。彼女の信心や想いは深い。しかしそれでも彼女はイエスが分かりませんでした。皆さんの中にも似たような体験をなさった方がおられますか？毎朝ミサに来るけれども、イエス様がいまいっぴんとこない。

マリアは「振り向か」ねばなりません。それ二度も。「振り向く」とは体の向きを変えるということです。心や体の向きを変える。これが典礼で起る事です。それだけではありません。マリアはイエスの声を個人的に聴きます。「マリア！」

### 「典礼奉仕」のために ⑧ 高松教区典礼委員 稲毛利之師 復活を体験する典礼①

この言葉を聞いて彼女はイエスだと分かったのです。そして彼女は宣教に遣わされます。初めての宣教師として...。彼女の証言を聴いてください。

「わたしは主を見ました！」  
これが復活の体験です。そしてこれが典礼、特にミサの中で起るはずの事です。

まず来る。来ないとも始まりません。そして心や体の向きを変える。変えていたただ。そして主のみことばを個人的に聴く。そこに人格的な出会いが起こります。そしてこう言うでしょう。

「わたしは主を見ました！」  
そして最後にこれを証しするため、世に派遣されるのです。

こういったイエスとマリアの間に起こった人格的な出会いがわたしたちに起きていますでしょうか？私たちに問題があるとすれば、さしたって二つのことが挙げられるでしょう。

一つは、「空の墓にとどまって泣いている」という状態。キリスト教信仰が単にこの地上の喜怒哀楽に留まっている、もっと言えば、「人の道」を説き、「人の道」を究めようと努力しているにすぎない状態。確かに心深いけれども、そこに留まる限り、死という現実を前にして何も起りません。

もう一つは、「何かにすがりついている」状態。最も厄介なのは自分の宗教、信条にすがりついている状態。

シモンズ神父の「社会と共に歩こう」という考えのもとに設立されたボランティアビューローを、神父の亡き後、守っている方が今回のこのひと市川さんです。ボランティア講座、親行グループワーク、高校生のための福祉体験スクールの車いす指導、ボランティアの受け入れ派遣、電話相談、国際分かち合い、収集ボランティア、女性のための青海の家、ビューローでの貸会場、機関紙発行など、神父と共に歩いてこられた方です。色々な人たちがビューローを訪れますが、いやな顔もせず、難しい相談に対しても、こんな時神父

文責 江ノ口教会 山下多加子

### 常に社会と共に歩く



高知 江ノ口教会  
市川公子さん

ボランティアビューロー

### ちょっとひととき

石段に散りばめられし桜花人に触れられざる物みな美しき  
復活の宴に集いつつましく笑み交ふ人らに舞う花疾風  
裏山の巖の上の山桜まぼろしのごと散りしきるなり

徳島教会 高田美美



ストラ献呈式



香油聖別式



谷口広海祭壇奉仕者選任式



ピデガイン師叙階金祝

聖香油ミサ (三月三十一日聖水曜日)  
入祭の前にストラ献呈式、ミサの中で祭壇奉仕者選任式、香油の聖別、ピデガイン師叙階金祝を教区の多くの司祭、修道者、信徒、子ども待者と共に祝った。

態。宗教は命をかけた価値の中心の座です。だから宗教戦争も起る。しばしば死屍を放っている。若者たちが宗教の胡散臭さを敬遠するゆえんです。皮肉なのは遊女や徴税人など、罪人はイエスを殺さなかった。先頭切って殺したのは真面目な宗教者です。(そして「無辜の良民」)

だからこそ、サウロ(古いパウロ)はパウロに成らねばならなかった。わたしたちは自分の「宗教」に死ななければなりません。

マリアは自分が知っているイエスにすがりつくのをやめました。

すなわち、典礼はわたしたちの善意の延長ではありません。上からの、恵みとしての、使徒たちさえも知り知らなかった「復活」体験の生きた伝承なのです。

### 助祭叙階式

司式 溝部脩司教  
日時 六月六日(聖体の祝日)  
午後二時  
場所 桜町司教座聖堂  
受階者 祭壇奉仕者  
使徒ヨハネ谷口広海

### 垣根のない居場所 インドネシアの旅を通して

二月から三月にかけての一月間、インドネシアのボルネオ島にあるオブレイト会の宣教地を訪ねてきました。その沿岸部にある空港のある都市から、大型夜行バスで約十時間かけて内陸部のある人口十万人程度の町に行き、そこから小型バスに乗り換え、二時間かけて小さな集落に行き、またそこからバイクで一時間半かけて川沿いの船着き場に到着、更に二時間小型ボートに乗って最終目的地のオブレイト会の宣教地がある集落に辿り着きました。

をゆだねながら、家族や近隣の人々との団らんを楽しみ、その生活の中でこの恵みを与えてくださった神さまに感謝や賛美をささげていくこと、つまり平凡な生活、毎日の単純な営みの中に大切なものが隠されている、決して一大事業や一大行事を成し遂げるものではない、ということだと思います。



これを感ぜにくい日本の環境の中で、少なくとも環境のせいにはせず、心の持ちようによい気をつけながら、今回の旅で得たことを生かしていきたいと思っています。

ブラザー 八木信彦

と自然、人と神さまとの境や垣根をあまり感じません。家族以外の近所の人々も自由に家に入り出して、お茶を飲みながらゆったりと会話を楽しむ光景を何度も目にしました。

またそのような環境の中で生活しているからでしょうか、全体的に人間関係がおだやかでギスギスしていません。何か失敗しても責められる感がなく、とにかくそのまま居させてくれます。許容のラインが日本よりもかなり高いところに設定されているようです。

人間にとって最良のことは、自然の営みに身を

### 福者 ナバロ神父をしのぶ

島原半島巡礼の旅 中

「有馬から一リユー（約四キロ）離れた八良尾の村で降誕祭のミサをたて、町に行っていた時、捕卒に逮捕され島原へ連行された」。レオン・パジェスは二一二年の出来事としてナバロ神父が捕われた模様を述べる。当時神父はイエズス会の「島原地区長」をしていたという。

### 八良尾セミナリオ跡

一五八七年道後を追われたナバロ神父は、その後三十数年にわたり主に現在の長崎、長崎で迫害下の信徒たちの信仰を守り続けた。地域を歩き回りミサをたて、聖体を授け、告解を聞き、洗礼を授けた。命をかけた活動だった。



四基のキリシタン墓碑が並んでいる八良尾セミナリオ跡

### 降誕祭ミサ後捕らわれる

ところ。日本初の有馬セミナリオが禁教令の中、人目のつかないうちの山中に移転してきていた。北有馬から車で道標を頼りに農村地帯を登り続けやると八良尾にたどり着いた。農家がボツンボツンとある静かな山村。人影も見えない。共同墓地の中に「県指定史跡 北有馬西正寺キリシタン墓碑」の標識があり、寝棺型の四基の石製の墓碑が並んでいた。一基には花十字紋が

浮き彫りされている。ここが八良尾のセミナリオ跡だった。「（八良尾セミナリオ）はほとんど道のない深い林の中に隠れている。警告が来ると、すぐ衣類を持って森林の中へ逃げ込む準備をしている」。ペドロ・ゴメス（イエズス会准管区長）は巡察記録（一五九四年）でこう述べる。当時、八良尾では厳しい迫害下でなお司祭養成が行われていた。

ナバロ神父が捕われた一六二一年ころには弾圧はさらに厳しくなり、日本のすべてのセミナリオなどは閉鎖されていたのだが、隠れ家的な建物は残っていたのだから。神父はここで降誕祭のミサをたてた後、三人のキリシタンとともに捕われた。

初冬の八良尾の山村はただ静かだった。ふと四百年前のナバロ神父とキリシタンたちのミサをあげる祈りの声が風の中で聞こえたような気がした。

道後教会 丸尾修

### 桜町 イースターテアトロ

桜町教会では、今年の枝の主人にも恒例のイースターテアトロが上演されました。

教会学校の子供達を中心に、キリストの受難劇を上演するこの舞台は十三回目となり、イースターテアトロを観ないと言っても決して過言ではないでしょう。

子供達は一月末から毎週日曜日に練習を重ね、三月二十七日、枝の主日の前日には、本番さながらのリハーサルで仕上げをしました。

本番では、観客も劇中の群衆として参加し、枝の主日、聖木曜日、聖金曜日のできごと、そして主の復活を体験し、舞台上で演じる子供達と共に、聖週間の準備とすることができました。



### 高松教区諸委員会紹介

#### 「諸宗教対話」委員会

委員長 西川康廣助祭

#### はじめに

二〇〇六年、第八回WCR P「世界宗教者平和会議」が京都で開催された。「あらゆる暴力を乗り越え、ともにすべての命を守るために」を主題に、百か国以上から八百名を超える宗教指導者が参集した。

「ともにすべての命を守る」よう提唱し、教育を行い、その他の諸宗教協力活動に尽力し、自らの宗教共同体が「京都宣言」を共有することを誓い合った。更に、社会のあらゆる部門、即ち官、民、宗教

とを共に学べたことを深く感謝すると述べた。更にこれを機に互いの関りを深め合ってきたことも述べた。四国で初めて開催した大会に三百名を越す参加者があり、宗教とは何か、信仰とは何か、どのように生きるために信仰の道に呼ばれたのかなど、一人ひとりの内なる心に問いかける絶好の機会となった。そしてこの宗教者の集いを一過性のイベントで終わらせたくないとの思いが背中を押した。賛同する県下の宗教団体有志が声を掛け合い、二〇〇六年十二月には宗教者平和懇話会として高松に立ち上がり、現在約十団体が共に活動している。

#### これまでの取り組み

これらの過程を経て高松教区に「諸宗教対話委員会」を立ち上げ、初代委員長に西川康廣助祭が就任し、委員には溝部脩司祭、浜口末男師、エノレ・コンティ氏がいる。宗教者平和懇話会は輪番制で会場を回りながら三か月ごとに会を開き交流を深め合っている。内容的には二時〜三時、担当会場の宗教について学び合う。三時〜五時、平和懇話会。五時〜七時、夕食懇話会である。こうして宗教者の仲間を作り、ともに世界平和のために祈ること、宗教者からのメッセージを社会へ向けて発信していくことを旨として活動している。最初の三年間は、対話を重視しながら冒頭の世界宗教者平和会議の京都宣言キーワードである「平和」「正義」「命」について、夫々の宗教はどのように考え、理解し、表現しているかに取り組んだ。夫々の考えを押し付けられるのではなく、互いに共有できる言葉を見出すまでとことん話し合い、最終的には香川宗教者平和懇話会独自のメッセージを作成し発信して一連の作業を完了した。二〇〇九年二月には、香川宗教者

平和懇話会主催でローマ巡礼を企画した。パチカンでは諸宗教対話局で対話集いの場を持ち、アシジのフランシスコ教会では合同平和祈禱会を実現できた。巡礼団には、日本の各地から諸宗派・諸教団から約四十名が参加した。

今年二月末には法泉寺（高松）において合同平和祈禱会をし、また立正佼成会高松教会を会場に河野太通師（臨済宗大本山妙心寺派管長）を招き、「世界に平和を あなたに安らぎを」をテーマに講演会とシンポジウムを開催し、約百名が参加した。

#### これからの取り組み

ローマ巡礼後も互いに尊敬をもって学び合う姿勢を大切に、日本の社会、家庭、学校、職場で直面している現代の社会問題に対して、宗教者としてのメッセージを積極的に発信していくことを確認し取り組んでいる。更に年一回の巡礼を志し、この五月半ばには二泊三日の比叡山巡礼を企画し、宗教者懇話会と合同平和祈禱を予定している。

こうして単なる交流のみでなく、互いに尊重し合い、思いやり、分かち合って、宗教者として祈りを大切にしながら、世界平和の実現へ努力を続けている。



ローマ巡礼時、教皇謁見の間にて

**医療法人社団聖心会 阪本病院**

看護師・准看護師  
随時募集中です！

ご連絡をお待ちしています。

院内保育園開設

連絡先（事務局）  
0120-770-315

神を観想し、  
その実りを人々に伝えよ

**聖ドミニコ宣教修道女会**

私たちは、自分を創造しようとするこどもを  
まなび、護りましょう

**暁の星学園**

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園  
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

医療のともしび (20)

アメリカの医療制度の変化

従来アメリカは無保険者が人口の約20%も存在しました。私が約10年前にアメリカに留学をしたとき、この無保険者のある日系人と話をする機会がありました。病気の怖れはあるのだけれど、とにかく仕方がないと言っていました。保険料の支払いができないのです。もし病気になったらどうするのですか?と聞くと、我慢する、ガソリンスタンドで売っている薬を買う、入院が必要な状態になれば100%自己負担でもらうしかないと言っていました。(家など資産を売ることになると言っていました。)

これは実際の話ですが、腰痛を起こし救急車でER(救急救命室)に搬送され、問診・診察・腰椎X線検査・鎮痛剤の注射と処方を受けた人が、後日郵送された請求書の医療費は約30万円でした。幸い保険会社がほとんど支払ってくれたのですが、驚く金額ですね。日本では、この程度なら約10分の1の費用で済み、その3割を多くの方が病院の窓口で払って終了です。 (アメリカの医療費は高いのです。)

2010年3月23日オバマ大統領の医療改革法案が可決されました。今後10年で無保険者をなくすことになります。試算では3100

万人が新たに保険を手に入れることができるそうです。誰もが医療保険に入れる機会を与えたわけですが、逆にそれでも医療保険に入らないことを拒む国民に対しては、年間所得の1%または\$95のうち、どちらが多い方の金額をペナルティ(課徴金)として科すという項目もあり、実際には95%程度の国民が医療保険を持つことになるようです。(日本人の感覚では課徴金を払っても入らないとは信じにくいですね。)

財源は年収20万ドル以上の層から3.8%増税され、雇用する企業、製薬企業、保険会社などもお金を出すシステムになります。

日本とはかなり異なる国民皆保険制度になるとは思われますが、あの日系人はきっと安心したのではないのでしょうか。

アメリカの医療制度が変わろうとしている今、日本はどうでしょうか。医師の不足、産科や小児科医療の崩壊、高齢者を十分に受け入れられない制度的欠陥、赤字にあえぐ医療機関、患者意識向上から医療訴訟を怖れる医療機関側の萎縮した意識など問題は山積です。

政府は「Change!(チェンジ、変革)」とぜひよい方向に引っ張ってほしいものです。人こそ資産なりという言葉から、国民が安心して様々な活動ができる社会が国力を上げるものだと思います。

聖マルチン病院 整形外科 田賀谷健一

沖繩平和学習

高松教区「人権を考える委員会」の平和学習に十五名が参加しました。

二月十一日の沖繩は、桜の花が咲いていました。沖繩では北から南へと桜前線が移動するということを知りました。

翌日は、泡瀬教会の山田圭吾さんが基地を次々と案内して下さいました。まず、普天間基地を横切りました。張り巡らされたフェンス、基地の中に街があるのか、街の中に基地があるのかといった状況と基地の占める広大さに絶句しました。学校の授業が中断されるほどの騒音の中に人々は生活していることを目の当たりにしました。



海をバックに平和公園で

たりにしました。辺野古から北方の基地へも行き、テントの中で非暴力の抗議を続けました。普天間基地の移設問題はどうでしょうか?ある修学旅行生が

ガイドさんに「基地をどう思いますか?」と尋ねたそうです。ガイドさんが「あなたのお家の隣に基地が出来たらどう思いますか?」と問うと、生徒は「とんでもない。いやですよ」と答えたそうです。

三日目は、沖繩戦の跡をたどり見ました。私は「ひめゆりの塔」で見た、若い女学生たちの一人一人の写真が今もまぶたに焼き付いています。負傷兵を不眠不休で看護し、死へと追い込まれていった彼女たちを思うとき、戦争の悲惨さははかり知る事ができません。

沖繩の空気を吸い、生の声を聞く機会には平和ボケに気づかされる有意義な旅となりました。

巡礼中の毎夕、その日の振り返りがあり、皆様からの有意義な発言で良い分かち合いができました。クララ修道院では快適に泊めて貰って平日の早朝ミサに共に参加できたこと嬉しく思います。フランシスコ姉妹会のシスター宮城ボランティアガイドの山田様宇根様に心からの敬意と感謝を申し上げます。

ありがとう沖繩巡礼

シスター 森川マリ子

エイサーを披露してくださったタルクの会のメンバーからは、力強いタイコエネルギーが伝わってきました。また陸海の自然環境保護や住民の生命を守る平和運動の理念は、徹底した非暴力の抵抗となりました。たった一人でも生涯をかけて、不自由なテントの中で続ける根気強い姿が心に印象深く残っています。米軍基地の七十五%が集中している沖繩の多大な負担と犠牲そして住民の生活生命の危険極まりない実態や痛みを実感できた巡礼でした。

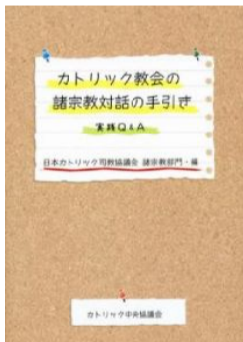
平和の祈りのうちに感謝! 中島町教会 佐竹久子



語り部宇根節子氏の説明を聞く

新刊書籍紹介

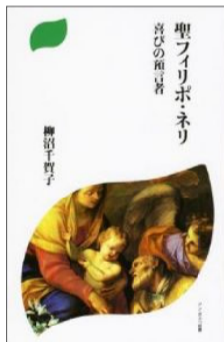
「カトリック教会の諸宗教対話の手引き」



カトリック信者がさまざまな宗教の人とかかわり、他宗教の行事に参加する時の問題に答えるべくまとめられたのがこの手引き書です。

日本カトリック司教協議会 諸宗教部門 編 B6判並製152ページ カトリック中央協議会 903円(税込)

聖フィリッポ・ネリ～喜びの預言者～



「喜び」には人の心を獲得し、人を徳の道へ導く力がある。英国のJ・H・ニューマン枢機卿、イタリアのドン・ボスコ、日本の岩下壯一師が尊敬してやまなかった喜びの聖人の日本初の伝記。

柳沼千賀子 著 新書判並製202ページ ドン・ボスコ社 840円(税込)

教区スケジュール

- 5月 1日(土) 勤労者聖ヨゼフ(教区事務所休み〜6日) 2日(日) 復活第5主日 3日(月) 聖フィリッポ、聖ヤコブ使徒、憲法記念日 4日(火) みどりの日 5日(水) 子どもの日 6日(木) 事務局休日 9日(日) 復活第6主日 10日(月) 西日本地区司祭交流会(下関) 12日(水) 司祭評議会 10:00 1泊2日司祭集会「霊性」(~13日) 13日(木) ファティマの聖母 15日(土) 聖マチア使徒 16日(日) 主の昇天 ルルド祭in三本松 17日(月) 「比叡山巡礼」(諸宗教対話) 20日(木) <田中英吉司教命日> 21日(金) サレジオ会司教集いinトリノ 23日(日) 聖霊降臨の主日(年間第8週) 28日(金) 宣教司牧評議会役員会 13:00 30日(日) 三位一体の祝日(年間第9週) 高松教区東讃ブロック堅信式 6月 1日(火) 司祭評議会 10:00 5日(土) 女性委員会 13:00 6日(日) キリストの聖体(年間第10週) 谷口広海助祭叙階式 14:00 聖歌コンテスト 11:00 11日(金) イエスのみこころ 司祭年閉幕ミサin大阪(13:00~17:00) 13日(日) 年間第11主日 16日(水) 生涯養成委員会 13:15 18日(金) 宣教司牧評議会 13:00 19日(土) 青年の集いin徳島(~20日) 20日(日) 年間第12主日 21日(月) 教区司祭黙想会in宝塚・売布(夕食~26日朝) 24日(木) 洗礼者ヨハネの誕生 27日(日) 年間第13主日 29日(火) 聖ペトロと聖パウロ使徒 司祭年閉幕・世界司祭大会(ローマ)

日本カトリック医師会 高松支部からのお知らせ

今夏八月二十日から二十二日、日本カトリック医療関係者学生セミナーを坂出で開催します。医療系学生のみならず、医療系職員、さらには一般信徒や市民も参加できます。詳細は「日本カトリック医師会ホームページ」に掲載予定です。ご興味があれば参加をしてみませんか?

四国でのMEウィークエンド開催

二年ぶりに四国でマリッジ・エンカウンター(ME)ウィークエンドを企画しています。これは、週末を利用して二泊三日のプログラムで、夫婦の関わりを振り返り、婚姻の秘跡をより豊かに生きるためのものです。日常生活から離れて、お二人のための時間を過ごしてみませんか。きっと、神さまはお二人にステキなプレゼントをして下さると思います!司祭、修道者の方も大歓迎です。

忘れられた少年 「人間賛歌」のオペラ



日本とヨーロッパの国際交流という大変な偉業を成し遂げた天正遣欧少年使節。今こそ大きな夢を抱いて旅立った彼らをじっくり思い描いてみては如何でしょうか。

2010年5月29日(土)・30日(日) 松山市コミュニティーセンター キャメリアホール 入場料 指定席 3500円(当日券4000円)

編集後記

今年の春は北極振動とやらで三寒四温どころではなく七寒八温といえるような不順な天気が続いた。そんな中、週間には教区を挙げての聖香油ミサが行われ、教区典礼も一層の充実が図られた。三日前、聖なる三日間、復活の夜祭の典礼は大きな喜びに溢れたものとなった。